

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 5 年度 第 5 回豊中市市有施設有効活用委員会		
開 催 日 時	平成 2 6 年（2 0 1 4 年）2 月 2 0 日（木） 1 4 時～1 6 時		
開 催 場 所	豊中市役所第二庁舎 3 階 大会議室	公 開 の 可 否	☒ ・不可・一部不可
事 務 局	資産活用部 施設活用推進室	傍 聴 者 数	2 人
公開しなかつ た理由			
出席者	委 員	○市有施設有効活用委員会委員 5 名 伊丹康二委員、佐野こずえ委員、新藤晴臣委員、廣瀬史朗委員、吉野忠男委員 （五十音順）	
	事 務 局	○資産活用部 施設活用推進室 福田部長、甫立次長、國司主幹、宿院主査、山口主事、次郎坊	
	そ の 他		
議 題	1. 個別事案を踏まえた市有施設の有効活用について 2. その他		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

審議等の概要（主な発言要旨）

案 件 1

個別事案を踏まえた市有施設の有効活用について

- ・資料 個別事案を踏まえた市有施設の有効活用について(案)

事務局より資料説明

(委員長) 答申案について意見はあるか。

(委員) 人権まちづくりセンターと老人福祉センターは複合化・多機能化の対象なので、統計書以外に、施設のデータベースの中から有用なものを活用するなど、具体的な現状が判る資料が必要ではないか。また、8 ページの注釈3であるが、「つながりはない」とあるが、少し具体的に、例えば、役割分担がされていないのか、事業の連携がされていないのかなどを書くべきではないか。

(事務局) 1 点目は、公表できるデータベースかどうかを確認する必要があるので、検討する。2 点目は確かにどうつながりがないのかわかりにくいので修正する。

(委員) 複合化・多機能化に関する答申なので、データベースよりも図面もしくは諸室の概要がわかる資料が必要であると思う。

(事務局) 図面的なものを載せると個々の施設の具体的な有効活用に言及しているイメージが強くなる。また、市民に公表するので、公表できる資料でないといけないのと、あまり細かくなりすぎるのもどうか。

(委員) 図面を載せるのは難しいと思うが、各施設ハードの違いがかなりあるのにソフトが一律で提案されているので、敷地面積や延べ面積は載せる必要があるのでは。

(事務局) できるだけ考えていく。

(委員) 3 点修正してほしい箇所がある。

- ・19 ページ表中、「柔軟に再編する」を「柔軟に再編」に修正。
- ・23 ページの注釈 18 で、「当初は時間・労力等を要した作業について」を削除し、「従業者が経験を重ねるとともに作業効率が一定割合向上するさまを表現している。定型的な業務について特にあてはまるとされる。」に修正。
- ・24 ページ「◇まず小規模施設において新たな試みを成功させる」の冒頭、「他市において」を「他自治体において」に修正。

(事務局) 発言の趣旨に沿って修正する。

(委員) 意見が 3 点ある。

- ・1 ページの注釈 1 で、「豊中市の人口が 40 万人を超え」とあるが、ホームページを見ると超えていないように思う。
- ・19 ページの表で、1 行だけ次ページに分割している。見やすいように工夫した方がよい。
- ・外部活力導入として、第 3 セクターに触れなくてよいのか。

(事務局) 人口は、住民基本台帳に基づく人口と推計人口では違いがある。調べて適切な形で記載したい。表は、工夫する。第 3 セクターはマイナスのイメージが大きく、時

代遅れの感があるので触れる必要がないのではないかと思います。

(委員) 何点か意見がある。

- ・ 1 ページ②が「また」という接続詞から始まっているので、修正してほしい。
- ・ 2 ページ①の最後「言える」を「いえる」に表記を統一した方が良い。
- ・ 3 ページの 2 段落目の 3 行目「また」を「また、」に修正。
- ・ 3 ページの 3 段落目の 4 行目、「解決を進める」は少し強い表現なので、文言を検討してほしい。
- ・ 3 章がいきなりマップで始まるのはおかしい。文章から始まるべきである。施設名と駅名が重なっているのを、重ならないように工夫してほしい。
- ・ 6 ページ②の 1 行目「人権まちづくりセンターにおける現状と課題と考えることを集約すると」の部分はもう少しすっきりした表現に。他にも同様の表現があるので直してほしい。
- ・ 10 ページ「◇「待機児童問題」と施設の戦略的配置」の 4 行目「さらには」を「さらには、」に。
- ・ 10 ページ 2 段落目 7 行目、「解決も含まれるはずである」は、「解決」や「はず」が強すぎる。他の箇所とトーンをあわせてほしい。
- ・ 15 ページ「①「機能」を従来の枠に囚われずに配置する」の「囚われず」の文言修正。
- ・ 「一度この枠を外して」「図書館の枠を取り払い」「固定的に捉えて」とあるが、文言を統一すべきである。
- ・ 15 ページ「◇「機能」に関する視点の転換」の 1 行目冒頭の「まず」は接続詞から始まるので、修正してほしい。
- ・ 20 ページ「◇「コラボ」に求められるハード面のあり方」の冒頭、「これにかかわって」の「これ」が何をさすのか。表現を工夫してほしい。
- ・ 21 ページ最後の行が見出しになっている
- ・ 25 ページ冒頭が「ある。」となっているので、工夫してほしい。
- ・ 26 ページ (5) まとめの 4 行目、「間違っている」は少し強すぎる。表現を工夫してほしい。
- ・ 26 ページ (5) まとめの 6 行目、「従来の枠を取り払い」の文言を統一して欲しい。

(委員) 資料の番号を記載するとともに、出典も明示すべきである。

(事務局) 庁内会議において、25 ページの (4) ◇喫緊の課題へのアプローチを経て「あるべき姿」への至るシナリオづくりの中では児童数中心の表現になっているので、幼保一体化や公民の役割分担やセーフティネット等を強調させた方がいいのではないかと意見があった。この意見をふまえ、25 ページ下方◇保育所・幼稚園の例 - 待機児童問題が存在する間の公立施設の配置の中で、「子ども子育て支援制度」が一定の安定を見るまでの期間…と自動的に安定するように書かれているが、もう少し行政が積極的にも関わるという趣旨の内容に修正したい。

(委員長) 他に意見がないようなので、その方向で進めてもらいたい。

(委員) 19 ページの「求められる今後の機能」であるが、基本的には総合計画に沿って考

えられるものなので、その旨を書き加えてほしい。

(事務局) 書き加えるようにしたい。

(委員) 資料の図表の右端の線があるものとなないものがあるので、揃えてほしい。

(委員長) 事務局には以上の意見を答申案に反映してほしい。

案 件 2

その他

・今年の振り返りと来年度の抱負について

(委員) 私自身は、本年度は都合により、幼稚園の視察のみであったが、園長から考えや園の工夫していることなどを聞くことができた。次年度もできるだけ現地を視察して、現場の話を聞き、実感しながら議論をしていきたい。

(委員) 豊中市の施設を視察できたのは、貴重な体験であった。今後は他自治体の事例も調べつつ、豊中市のことを考えていきたい。

(委員) 今回初めて委員になったが、大変勉強になった。施設を実際に見にいったのはとてもよかった。施設を議論するにおいて、視察するのとしないのでは大きな違いがある。会議の途中で現場の意見を聞きながら討論でき、施設の背景が理解できたのは良かった。

(委員) 改革創造会議においても委員をしていたが、今回との大きな違いは、現場を視察したことである。机上の議論ではなく、施設の問題点が実際見られたことである。来年度も視察する機会を作してほしい。また、市民目線を忘れずに残りの任期も頑張っていきたい。

(委員長) 施設を視察し、現場の話を聞くことによって、また、所管部局の意見を受け、我々の考えが、やや不足している部分や課題があるということを改めて実感できたこともあった。このメンバーで答申がまとめられる段階に来た。今期のテーマをさらに発展させることを事務局にお願いしつつ、我々が審議してきた趣旨が市政に反映されることを期待している。

(事務局) 委員の方々が、課題に対して熱心に取り組み、時間を費やしてもらったおかげで、到達点に来ることができた。頭が下がる思いである。そして、どのようにして、これからいただく答申内容を市として受け止めていくかというのが、我々の課題である。形にしていこうように進めていきたい。この 1 年間の活動に感謝している。また引き続きお願いしたい。